

学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立原山ひかり小学校
校長 妹背 成重

中学校区におけるめざす子ども像													校長 妹脊 成重		
学び続ける力を未来の「働くこと」につなげる子　～愛　学　健～															
令和7年度　重点目標															
「1. どの子ども取り組める授業の創造（授業のユニバーサルデザイン化）2. 豊かな人権感覚の育成、多様性を認める学校生活の創造　3. 校種間連携と地域協働型教育の推進　4. 特別支援教育の推進と個に応じた指導の充実」を重点目標とし、本校の教育目標「豊かな人権感覚を持ち　主体的に学び　心身ともに健康な子どもの育成　～自ら考え、決断できる子を育てる～ 」を実現する。															
「確かな学び」の現状										「豊かな心・健やかな体」の現状					
・パソコンを使った授業について慣れており、また授業で、自分で課題を見つけて、情報を集めて整理し、調べたことを発表することについて取り組んでいる児童が多く、現代社会における力は備えている。 ・子どもたちの中で倫理観については、様々な面からもしっかりと育っている。 ・表現することについての苦手意識が少し改善されつつあるが、依然として不得意な子どもが多いことが各種調査から明らかになっている。各教科における学力についても二極化しており、個々に応じた対応が必要となっている。										・スポーツテストの結果より、毎年少しずつ記録が上昇し、堺市平均や全国平均を上回っている種目が多い。また、運動が好きな児童も多く、体育の授業について力を入れていることから効果を上げてきていると思われる。 ・朝ご飯については食べている児童の割合が高いが、睡眠時間については短い児童の割合が高い。保健指導を通して生活習慣の改善を図り生活リズムを確立する必要がある。 ・基礎学力が身についていない子どもが少なくない。普段の学習の指導を継続していく必要がある。					
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組、★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認 （～12月）	達成状況（年度末）							
								自己評価		学校関係者評価					
確かな学び	基礎・基本の定着	読む・書く・計算する力を継続的に育成する。	朝の学習で基礎学力プリントを実施し、基礎・基本の定着を図る。	定着度テストを行う。	定着テスト	半期	○	教室での掲示などを通じ常時啓発しており、また朝会で表彰するなどして意欲が向上に努めている。	○	朝の学習では、基礎学力の向上に取り組んできた。また、自主学习ノートについては毎月表彰を行い子ども自身の学びへの動機づけを行い学びへの意欲を高めた。	○	基礎学力向上に今後も取り組んでいただきたい。			
			★自主学习ノートを、全クラスで点検や評価を行い、子どもの意欲につながるよう継続的に行う。	全員が取り組めるように指導を行う。	実践報告	学期末			○						
	授業改善	子どもが考え、決断する授業を展開し、主体的で対話的で深い学びを追究する。	全学年が公開授業を行うとともに、GIGA 端末を積極的に活用する。また検討会に参加することで、授業力を向上させる。	各学年が授業公開を実施している。	実践報告	年度末	○	G I G A端末を日常的に使用しており、考えをまとめることや身の回りの物を写真に撮るなどして調べるなどの使い方をしている。	○	公開授業を実施し、思考ツールを使って自分の考えをまとめてかけられるような授業を行い、毎回討議を行った。自分の考えをまとめることでお互いの交流になりやすい授業内容が多くなった。また、ICT 活用で自分の考え方の表現に役立てることができた。	○	上手に褒めて、やる気を引き出しているだけであればよいかと。各種ツールによる思考力工場の取り組みは、感心しました。			
			●授業において、必ず考える場面を取り入れ、自分の考えをノートに書くことを大切にするとともに、ICT の活用をすすめる。	自分の考えを人にわかるようにノートに書かせ、なぜそう決めたのかを必ず振り返らせるようにする。また GIGA 端末を活用して自身の思考を可視化する。	学校教育自己診断 実践報告	年度末			○						
★考えを持ち、深める活動を大切にし、それを発表し交流できるようにする。			自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	学びの診断質問紙 実践報告	年度末	○									
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	人権教育を基盤とした教育を充実させ、豊かな人間性を育成する。いじめを許さない心を育てる。	●全教科を通して、人権教育の視点を大切にするとともに、道徳教育の充実を図り、いじめを許さない心を育てる。	道徳ノートやワークシートを通じて子どもの成長を読み取る。いじめアンケートを行い、対応を積極的に行う。	実践報告 学校教育自己診断	年度末	○	道徳教育や障害理解教育を進めている。各種アンケートで子どもの状況を教職員で共有して深めていくようにしている。	○	道徳の授業については続けていくことで友だちの良さを見つけるとともに、自分自身の自尊感情を高めることができた。	○	自分さえという考え方ではなく、人間教育・道徳教育を通じて自尊感情を高め他者の考え方を尊重し認め合う姿勢をはぐくんでいただきたい。			
			★自分の良いところに気づかせる取り組みを繰り返し自尊感情を高める。	「自分には良いところがある」と答える自己肯定感を持っている。	学びの診断質問紙	年度末			○	学級会や児童会活動を通じて他学年と交流する機会が増えたことでお互いの良さに気づくことができると同時に、進級後のビジョンを持つことができた。た。	○				
			学級会、児童会活動などを充実させ、お互いの考えを出し合う中で自他の良さを認め合うことができるようにする。	友だちの良さを認め合うことができている。	実践報告	年度末			○						
	体力向上	運動や健康に関心を持たせ、体力向上・健康増進を図る。	・6年間、系統立った体育の授業を行うことで発達段階に合う指導ができ、学校全体の体力向上を図る。	スポーツテストの結果。	実践報告	年度末	○	体力向上については体育の研修を常日頃から行い体力向上に努めている。食に関することを、栄養士を中心に給食委員会が啓発している。	○	鉄棒やなわとび、跳び箱などを指導方針を揃えたことで楽しく運動に取り組み技能向上につながった。スクリーンタイムについても保護者に啓発し、保護者への意識づけも行った。	○	スクリーンタイムの制限はよいと思います。家庭の指導も重要と思います。			
			●保健の授業を通じて、児童が自らの健康に対して取り組む力をつける。	それぞれの実践後の結果。児童の食や睡眠のアンケートで GIGA 端末を活用して集計し、まとめた結果等。	実践報告 質問紙等調査	年度末			○						
	地域協働	信頼される学校	学校の状況を積極的に情報発信するとともに、地域とともに歩む学校づくりを進める。	学校ホームページ、校報等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。	学校ホームページを積極的に更新する。校報の地域への配布。	実践報告	学期末	○	生活科や総合の学習などでの地域との交流を深めている。また地域清掃や地域の祭りなどの行事にも積極的に参加している	△	ホームページについては、昨年度程度となった。次年度は、さらに更新するように心がけたい。今年度も地域の方との交流をすることができた。今後も関係を継続できるよう努める。	○	ホームページの袁譚把握を進めていただければ。 5年生との福祉交流は大変よかった。今後も児童・先生との交流の場があればありがたいです。		
●地域人材を積極的に活用するとともに、地域とともにあゆむ学校づくりを行う。また地域行事にも積極的に参加する。				学校の教育活動をサポートしていただく機会を増やす。地域行事への参加を増やす。	実践報告	年度末	○								
校長より（年度末） 今年度は地域の方々との交流を深める機会を増やすことができました。今後も地域の方々との交流する機会を増やすとともに学校の教育活動を支えていただければと思います。子どもたち自身が様々な自尊感情を高める場面を増やしてきました。学力だけでなく、子どもたちが自身の良さを見つけて生きている力をつけられるように今後も取り組んでまいりたいと思います。									学校関係者評価者から（年度末） 学校、先生、児童が大変落ち着いてきたように思う。先生方の努力のたまものと思います。今後も引き続き頑張っていたいただければと思います。						